

キクガシラコウモリ

Rhinolophus ferrumequinum

翼手目 キクガシラコウモリ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし



大型のコウモリで、頭胴長は50～75mm、翼を広げると40cmを超える。キクガシラの名前は、鼻の一部が広がって、菊の花に似ていることに由来する。洞窟、トンネル、用水路、廃坑、戦時中の防空壕などに生息し、おもに河川や森林域などで飛翔昆虫を捕食する。防空壕は埋め戻され、石灰洞は掘削され、鍾乳洞は人工照明が取り付けられるなど、生息環境の悪化が進行しており、これまで生息していた洞内でも、個体数が減少している。

(写真・文：足立高行)

県内分布 県内全域の自然洞，人工洞，暗渠

分布域 北海道，本州，四国，九州（福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島），伊豆大島，三宅島，八丈島，佐渡島，対馬，五島列島，屋久島
ヨーロッパ，モロッコからインド北部，中国，朝鮮半島